

【022】 A～Eの5人の身長を測定した結果、次のア～エのことがわかった。このとき、確実にいえることとして、最も妥当なのはどれか。

ア：同じ身長のものはいない。

イ：1番身長が高いのは178cmのBであり、Bと1番身長の低い者との差は23cmある。

ウ：Dは170cmで5人の中での平均身長より2cm高い。

エ：AとD、EとDの身長差はそれぞれ2cm、5cmである。

- 1 Aは168cmである。
- 2 BとEの身長差は1cmである。
- 3 Cは4番目に身長が高い。
- 4 Dは3番目に身長が高い。
- 5 EとAの身長差は3cmである。

【023】 A～Eの5人の身長差について以下のことがわかっている。

ア：AとBの身長差は2cmである。

イ：BとCの身長差は4cmである。

ウ：CとDの身長差は2cmである。

エ：DとEの身長差は8cmである。

オ：EとAの身長差は4cmである。

以上から判断するとき、確実にいえることは次のうちどれか。

- 1 1番身長が高いのはCかDである。
- 2 2番目に身長が高いのはAかDである。
- 3 3番目に身長が高いのはAかBである。
- 4 2番目に身長が低いのはBかDである。
- 5 1番身長が低いのはCかEである。

【024】 ある学校の運動会で、赤組、白組、青組、黄組の4組に分かれてリレーを行った。A～Dの4人はいずれかの組の最終走者として走り、全員がバトンを受けてからゴールインするまでに、次の順で順位に変化が生じた。

- ・まずAが黄組の走者を抜いた。
 - ・次にBが続けて2人を抜いたが、2人目は白組の走者であった。
 - ・最後にCが青組の走者を抜いて3位になった。
 - ・これ以外に順位の変化はなかった。
- このとき、確実にいえるのはどれか。

- 1 Aは白組にである。
- 2 Cは赤組である。
- 3 Dは青組である。
- 4 赤組が1位でゴールインした。
- 5 黄組が2位でゴールインした。

【022】 4

高い方から BADEC
ちなみに、平均は168cmなので、全員の合計は840cmである。

【023】 3

4パターン存在する、少しレベルが高い問題。
いずれも高い方から
CDBAE
EABDC
DCABE
EBACD

【024】 2

1位：B黄組 2位：D白組 3位：C赤組 4位：A青